

第 47 回(2020 年度)地域安全学会研究発表会(秋季)に参加しました(2020/10/30 ~ 11/1)

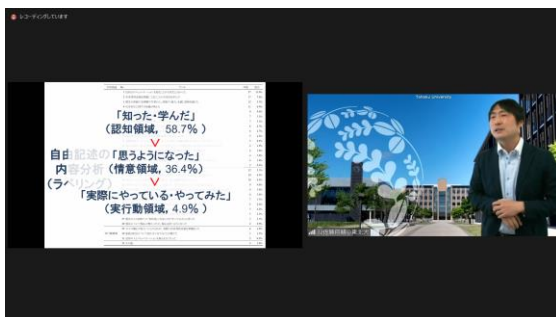
場所：オンライン

参加者：佐藤翔輔准教授，新家杏奈（D1），門倉七海（M2），渡邊勇（M1）

令和 2 年 10 月 30 日（金）～11 月 1 日（日）の 3 日間、オンラインで地域安全学会の周期研究発表会が開催されました。地域安全学会は、研究者、技術者、国や地方自治体の実務者などによる、自然災害や人為災害を対象として地域の安全問題に関する研究を行う学会です。当研究室からは査読論文の口頭発表で 4 名が参加いたしました。また、新家（D1）が論文奨励賞を受賞いたしました。同賞は、指導を受ける立場にある学生や若手研究者を対象にした賞で、今年は合計 4 名が受賞いたしました。

【査読付きセッション】（下線は当研究室メンバー）

- 佐藤翔輔：中学生が行う被災体験の聞き取り学習に関する分析：階上中学校における東日本大震災を対象にした災害伝承の学習事例
- 新家杏奈，佐藤翔輔，今村文彦：思考変化と移動経路を組み合わせた津波避難行動過程の分析：東日本大震災大震災発生時の気仙沼市階上地区の事例 **地域安全学会論文奨励賞受賞**
- 門倉七海，佐藤翔輔，今村文彦：発災から 50 年経過した水害被災地の記憶と備えの実態分析：1967 年羽越水害をまつりで伝承する新潟県関川村
- 渡邊勇，佐藤翔輔，八木秀文，今村文彦：東日本大震災の教訓は伝わっているのかー東北大学 MOOC 受講者を事例対象にした評価の試みー
- 池田真幸，佐藤翔輔：東日本大震災アーカイブの活用実態に関する調査分析
- 秋元康男，佐藤翔輔，紅谷昇平：被災自治体の災害対応の課題・教訓を継承するための記録の作成及び訓練・研修の実施に関する実態把握
- 松川杏寧，川見文紀，佐藤翔輔，立木茂雄：固定効果モデルを用いた生活復興感研究ー2014・2015・2016・2017 年名取市現況調査パネルデータを用いてー
- 川見文紀，松川杏寧，佐藤翔輔，立木茂雄：被災前の世帯の社会的脆弱性がすまいの再建に与える影響



佐藤翔輔准教授の研究発表



新家（D1）の受賞時の様子

（文責：渡邊勇）